

# 平成 27 年 1 月 1 日以降の実績

## 1 号機

### 【滞留水の移送】

・1号機タービン建屋地下 1号機廃棄物処理建屋  
移送実績無し

### 【その他】

現時点での特記事項無し

## 2 号機

### 【滞留水の移送】

・2号機タービン建屋地下 集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)  
移送実績無し

### 【その他】

現時点での特記事項無し

## 3 号機

### 【滞留水の移送】

・3号機タービン建屋地下 集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)  
移送実績無し

・3号機タービン建屋地下 プロセス主建屋  
平成 26 年 12 月 14 日午前9時 34 分～

### 【その他】

現時点での特記事項無し

## 4 号機

現時点での特記事項無し

## 5 号機

現時点での特記事項無し

## 6 号機

現時点での特記事項無し

## 共用プール

現時点での特記事項無し

## 水処理装置および貯蔵設備の状況

### 【タンクパトロール結果】

< 特記事項 >

・平成 26 年 12 月 31 日午後 0 時 39 分頃、H2タンクエリア内の B2タンク(フランジ型タンク)側面縦フランジ部に、にじみ(5～6秒に1滴程度の滴下)を、タンクパトロール中の当社社員が発見。その後、滴下は 60 秒に1滴程度まで減少。滴下した水は容器に受けており、容器に溜まった水の表面線量率を測定したところ、ベータ線(70μm 線量当量率)で 0.03mSv/h、ガンマ線(1cm 線量当量率)で 0.01mSv/h であり、バックグラウンドと同程度であった。このことから、タンク内の水がにじみ出たものではないと考えている。平成 27 年 1 月 1 日午前 8 時、当該部のにじみがないことを確認。

### 【H4, H6 エリアタンクにおける水漏れに関するサンプリング結果】

現時点での特記事項無し

### 【地下貯水槽に関する水のサンプリング結果】

現時点での特記事項無し

### 【セシウム除去設備】

現時点での特記事項無し

### 【多核種除去設備 (ALPS)】

現時点での特記事項無し

### 【増設多核種除去設備】

現時点での特記事項無し

### 【高性能多核種除去設備】

現時点での特記事項無し

### 【淡水化装置】

現時点での特記事項無し

#### 【サブドレン他水処理施設】

現時点での特記事項無し

## 地下水バイパス

#### 【排水実績】

< 排水実績 >

排水実績無し

< 特記事項 >

現時点での特記事項無し

#### 【地下水バイパス揚水井のサンプリング結果】

現時点での特記事項無し

## 地下水調査関連

#### 【地下水観測孔のサンプリング結果】

< 特記事項 >

・平成 26 年 12 月 31 日に採取した地下水観測孔 No.2 の地下水の分析値について以下の通り変動がみられた。

< 今回(12月31日)採取分 >

・セシウム 134 2.1Bq/L(過去最大値)(前回分析値(12月29日採取):検出限界値(0.39 Bq/L)未満)

・セシウム 137 7.7Bq/L(過去最大値)(前回分析値(12月29日採取):検出限界値(0.58 Bq/L)未満)

< 参考:過去最高値 >

・セシウム 134:0.88 Bq/L(平成 26 年 2 月 26 日採取分)

・セシウム 137:2.5 Bq/L(平成 26 年 2 月 26 日採取分)

なお、当該観測孔の位置する 2、3 号機取水口間では、海洋への流出防止を目的として、ウェルポイントによる地下水の汲み上げを継続している。

その他分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【1～4号機サブドレン観測井のサンプリング結果】

現時点での特記事項無し

## その他

#### 【その他設備からの水漏れ】

現時点での特記事項無し

#### 【油漏れ】

現時点での特記事項無し

#### 【その他設備の不具合・トラブル】

現時点での特記事項無し

#### 【けが人・体調不良者等】

現時点での特記事項無し

#### 【その他】

現時点での特記事項無し

以上